



日刊 昭和五年三月一日
第 一 五 五 五 号
平 市 公 益 質 屋 會 社
新 報 社 刊 行

支那單語
ボーイ茶をもつて来てくれと云ふことは影計給我朝茶來てホウチケイオウチーチーライと呼び、便所はどこかとたづねるときの場合を茅廁在那兒でマオスツアインアルと云ふ

戦地の便り
平市月見町出身 山野邊利正
相變らず頑健で 只管軍務に精勵

中等校の庭球選手権大會
警城球協主催、縣体協と平市後援の縣下中等校庭球選手権大會は明後四日午前八時から警城中學A、Bコートに於て催されるが参加十五校四十五組に及ぶ盛況である

廢品回収で献金
石城郡大浦村小學校の全児童は廢品回収で得たる金十四十八錢を恤兵献金方村役場へ

セミコリで怪俄
四倉町の栗木作門馬傳治さん二男浩君(三)は去月廿一日午後二時頃自宅裏の柿の木にのぼり蟬を取らうとして誤つて轉落竹の切先きに膝を刺傷し同町木村醫院の手當を受け竹を取り出したが重傷である

郡市部會聯合主催 國民學校の講習會

昨日から平市の公會堂で 講師は千葉東京市視學
平市教育會と石城郡教育會聯合主催の明新學期から實施される國民學校に就ての講習會は昨日から明三日まで毎日午前九時より午後二時半に及び平市公會堂に於て開催中である、講師は東京市視學(元東京高等師範)千葉末吉氏、題目は國民學校の精神、昨日一日の受講者は郡市の全職員に近しい七百名で國民學校の目的から、教育方法の中心點(一)統合

四大炭鑛の出資で 百萬圓の坑木會社

價格の統制と良材の購入に
警城、入山、古河、大日本の四大炭鑛では昨秋以來需要側相互の出資で坑木會社を創設すべく計畫中であつたが今回愈よ同創立を決定して資本金百萬圓(四分の一の拂込み)により良材の廉價購入に力を注がうとしてゐる、同社の事務所は平市南町邊の心當りを探してゐるが會社としては當分手山を買ふことをせず商人の造材を買入れて各坑それそれの用材を頒け様との目論みでこれによつて價格の統制をはかり且つ從來行はれた資材の奪取をも防がうとしてをり從つて

興亞の礎

石城出身の勇士 猪狩義雄准尉、大浦村出身、湖北省張家灣附近の戰闘に奮戦して五月十九日頭部貫通銃創を負つて壯烈な戦死を遂げた百三十日實家に公電、准尉は應召前まで警視廳寺島署に勤務してゐたもので實家には祖父

今年度四ヶ月間の 平市公益質屋の成績

七月のみで四千卅二圓 總貸高一萬五千二百七十二圓
平市公益質屋が昨年の開店以來漸次大衆に便利されて好成绩を上げつゝあるは既報したが今年四月以降の本十五年度成績は去る七月末に及ぶ四ヶ月の

小名濱商 復舊實施測量 工事着手は來十日頃から

既報の直營工事に決した小名濱港の災害復舊は來る十日頃から工事着手の豫定で去る三十一日須藤土木監督所長ほか所員二名及び小名濱駐在三浦技手により實施測量を行つたが災害箇所並びに災害區域左記の如くである

平署内巡查異動

平署では昨日の發令で署内異動をなす
▲經濟視察係菊地利巡查内(勸務(經濟))、署所在地第四區受持菊地博巡查飯野村駐在へ、同第一區警野富恒巡查下好間駐在へ、同第二區阿部月巡查永戸駐在

精神國民百一首(18) 興揚 白沙村人編

警架を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代畫壇の巨匠橋本關雪畫伯が選集印刷したものを森下博氏が複製頒布したもので其編輯と頒布の理由は畫伯の序文と森下氏の慶呈の辭で明瞭であるから兩つながら採録することにした(紙上質問に御答へ致します)

祭典費節約寄附

平市六、七日青年團では去る三十日執行した同區鎮座花地稻荷の例祭費を節約して金十四圓を昨日市の鎮座率公會へ寄附した

酌婦から時計を

湯本町の水野谷大工職佐川勝男(三)は去月二十三日夜同町吹谷料理店やなぎ屋事大谷銀治方に登樓し二階座敷で酌婦今田かつよを相手に遊興したが金二圓の所持金に過ぎない飲み勘定の不足から言葉巧みにかつよを騙しクローム腕時計十圓を奪上げて出たまゝ入費して戻らぬため昨日詳報で平署に檢舉される

梅田 雲 濱

若狭の人、通稱源次郎、關學派の勤王家なり、魯西亞の軍艦泉州に入るや、十津川浪士とこれを討たんとして後幕吏に捕はれ病んで獄中に死す、君が代を思ふ心の一寸に わが身ありとも思はざりけり

梁川 星 巖
美濃大垣の人、詩をよくす、つねに勤王の大義を唱ひ京都に死す、年七十、老ひの身のするのちはおしからじ 世にさほしのなきぞかなしき

